

一般社団法人日本母性看護学会

2024年度 社員総会 資料

<報告事項>

- | | |
|--------|------------------|
| 報告事項 1 | 2023 年度事業報告 |
| 報告事項 2 | 2024 年度事業計画 |
| 報告事項 3 | 2024 年度予算 |
| 報告事項 4 | 第 28 回学術集会会長について |

<決議事項>

- | | |
|---------|------------------|
| 第 1 号議案 | 2023 年度収支決算・監査報告 |
|---------|------------------|

報告事項 1 2023 年度事業報告

1. 総務委員会／総務

- 1) 日本母性看護学会総会の開催
 - ・2023 年度一般社団法人日本母性看護学会総会を非参集型の「書面表決による総会」とし、2023 年 6 月 28 日(金)に開催した。
- 2) 理事会の開催
 - ・通常理事会 4 回(Zoom)、書面理事会を 4 回開催した。
- 3) 会員管理
 - ・会員数は 2024 年 3 月末で、735 名、2023 年度入会者 77 名、退会者 91 名だった。
- 4) 学会に関連する事務業務
 - ・看護系学会等社会保険連合、日本看護系学会協議会、助産師団体連絡会、健やか親子 21 (2023 年 7 月入会) 等、関連団体への対応を行った。
- 5) 評議員意見交換会の開催
 - ・2023 年 6 月 17 日(土)に開催し、本学会の諸課題(1. 大規模災害支援者支援事業、2. 査読ガイドラインの修正、3. 学術論文賞の推薦、4. 非会員向けサービス)および社員総会議案に関する報告・説明、質疑応答を行った。
- 6) 2024 年度事業計画(案)作成

2. 総務委員会／会計

- 1) 会費管理、入金・支出管理
 - ・事務局より会費入金状況の確認・徴収の報告を受けた。
 - ・支出について、振込依頼を承認し適正な支出であることを確認した。
- 2) 2023 年度決算
 - ・事務局に委託し、法人に必要な会計書類を作成し、決算書を作成した。
 - ・決算書については税理士、および監事の監査を受けた。
- 3) 本学会収支状況からみた 2024 年度の運用について
 - ・インボイス制度については、申請しないこととした。
 - ・繰越金の増額の活用案について、以下の 3 点に反映する。
 - 学術集会準備金を現行 50 万から 100 万円に増額
 - オンデマンドシステムの充実 (非会員のセミナー参加者にも会員同様に視聴可能とする)
 - 編集委員会の外部校正費用 (論文種別を問わず) の増額 (年 10 万円)
- 4) 2024 年度予算 (案) 作成
 - ・各分掌理事の計画を取りまとめ、予算案を作成した。

3. 総務委員会／災害対応部会

- ・災害関連の情報を収集するとともに、看護系学会協議会災害活動員会からの情報は、事務局を通じて理事・監事へ提供を行った。
- ・一般社団法人日本母性看護学会 大規模災害支援者支援事業-
発災時支援に入る看護研究者・実践者に対する支援を実施することになり、募集要項、申請書を作成した。
- ・2024年1月1日の能登半島地震において、会員の皆様に日本母性看護学会大規模災害支援者支援事業についてご案内を出した。応募者はなかった。
- ・理事長名で能登半島地震について「お見舞い文」をHPに掲載した。
- ・日本母性看護学会大規模災害支援者支援事業についての応募要項、申請書をHPから常時ダウンロードできるように検討中。

4. 総務委員会／将来構想部会

- 1) 日本学術会議協力学術研究団体の指定申請に向けた準備
 - ・指定申請の進捗状況と会員登録情報の更新について会員に周知した。
 - ・申請要件の充足を確認し、日本学術会議への申請を行った。
- 2) 「地域における高度実践看護プロジェクト」活動の実施
「産後のメンタルヘルスケアにおける高度実践の探究」をテーマに、メンタルヘル스에不調をきたしながら1歳未満の子どもを養育している母親に看護ケアを提供し、母子の心身の安定を図ろうとした実践的経験を語る事が可能な看護職8人（内、母性看護専門看護師6人）を対象に、実践内容を抽出した。
- 3) 「母性看護 APN 将来像検討プロジェクト」活動の実施
 - ・母性看護領域における APN の役割・活用・育成に関する提言（一次報告書）について、理事への意見募集、会員を対象にしたオンライン報告会（2023年11月7日開催、参加23名）とオンライン意見募集（2023年10月22日～11月30日、回答3名）を行った。
 - ・母性看護 APN(高度実践看護師)の将来像（仮題）（プロジェクトチーム案）（2024年2月版）を作成し、理事への意見募集と有識者8名へのヒアリング調査を行った。
- 4) 2024年度事業計画（案）作成

5. 編集委員会

- 1) 機関誌の編集・発刊
 - ・日本母性看護学会誌第24巻1号を2023年10月に、第24巻2号を2024年3月に発刊した。
 - ・機関誌発行の会員へ周知メールを実施した。
- 2) 編集委員会の開催
 - ・編集委員会をZoomにて概ね月1回定期開催した。

3) 2024 年度事業計画（案）作成

6. 広報委員会

- 1) ホームページの充実発信する情報の充実
 - ・ホームページを合計 16 回更新した。
- 2) ニュースレターによる情報の発信
 - ・ニュースレター 24 号の企画・編集・発行
- 3) 全会員への、各委員会から直接メールの配信システム支援
理事長よりお知らせ 2 通、学術支援委員会 1 通、生涯学習支援委員会 1 通、APN 委員会 4 通、編集委員会 1 通、災害対策部会 1 通
- 4) 全会員へ広報委員会が取りまとめた記事の定期配信を開始
 - ・年間 4 回の日本学術会議他有益情報の配信(5.8.11.2 月)
- 5) 第 25 回日本母性看護学会学術集会における広報
定期配信メール内に掲載
- 6) 2024 年度事業計画（案）作成

7. 研究促進委員会

- 1) 研究助成に関する情報提供
 - ・ホームページを通して、会員が申請できる助成金等の情報を更新のための確認を行った。(2023 年度内は更新なし)
- 2) 日本母性看護学会研究助成
 - ・2024 年度研究助成の応募要領の作成ならびに公募を実施した。
 - ・本制度を会員に周知するため、応募要領を会員に配布するとともに、ホームページに公募の案内を掲載した。
 - ・2024 年度研究助成に対して 2 件の応募があり、選考委員会を発足して選考し、2 件を採択した。
 - ・2023 年度研究助成会計監査
- 3) プロジェクト型・大型の研究助成の創設について検討した（2024 年に継続）。
- 4) 2024 年度事業計画（案）作成

8. 学術支援委員会

- 1) 学術集会の企画・運営支援
 - ・第 25 回および第 26 回の学術集会の企画・運営支援を行った。
- 2) セミナーの企画・運営
 - ・第 17 回日本母性看護学会学術支援セミナー「今こそ学び直そう！論文クリティーク〔質的研究編〕」を以下の内容で Zoom により開催した。登録参加者は会員 49 名、非会員 5 名、合計 54 名であった。オンデマンド視聴者は延べ 20 名だった（2024 年 3

月 31 日まで学会ホームページで会員へ公開)。

日時：2024 年 2 月 24 日 (土) 14 : 00～16 : 00

講師：山川 みやえ氏 (大阪大学大学院医学研究科保険学専攻 准教授)

- ・アンケート回答者は 22 名で、回答者全員が、今後の教育・研究・実践に「とても役立つ」「役立ちそう」と回答した。

3) 学術論文賞の選考

- ・理事による推薦、選考委員会による審査を経て、第 17 回学術論文賞を 1 論文選考した。

学術論文賞受賞論文：高校生が月経痛のセルフケアを獲得するための母親参加型学習プログラムの評価 (福山智子)

- ・当該年度は書面総会となったため、表彰式は行わず表彰状と記念品を郵送し、受賞者からのコメントをホームページで掲載した。

4) 2024 年度事業計画 (案) 作成

9. 生涯学習支援委員会

1) CTG セミナー実施

2023 年 7 月 11 日 (火) 第 59 回日本周産期・新生児医学会学術集会 (名古屋国際会議) にて開催した。事前申し込み 51 名、参加費無料 (学会参加費)

参加者には第 4 回 EFPCT 参加修了証、(CLOCK MIP 認定証) を授与した。

2) GDM セミナー実施

「糖代謝異常妊産褥婦を支援する看護セミナー」として開催した。

2023 年 12 月～2024 年 1 月、オンライン研修、参加者 20 名 (会員 13 名、非会員 7 名)

参加者のうち希望者にアドバンス助産師の研修修了書を授与した。

3) WHC セミナー実施

2024 年 2 月 24 日 (土) 参加者 23 名 (会員 20 名、非会員 3 名)

講演は「月経関連症状の最新の知見と支援」、「子宮頸がんの予防における看護職の役割」

講演後にファシリテーターとディスカッションを実施した。

4) 各セミナー担当者会議 (オンライン)

5) 2024 年度事業計画 (案) 作成

10. 看護政策検討委員会

1) 看護系学会等社会保険連合 (看保連) に関わる活動

- ・総会、看護技術検討委員会、あり方検討委員会への看保連委員として出席した。
- ・情報交換会への看保連委員として出席した。

2) 診療報酬改定要望書の提案に関わる活動

- ・日本助産学会看保連委員との意見交換を行い、R6（2024）年診療報酬改定共同要望「C101-3 在宅妊娠糖尿病患者指導管理料」の算定対象の拡大を提出した（採択なし）。
 - ・R6 診療報酬改定後、看保連の分析結果をもとに、R8（2026）年度診療報酬改定に向けた意見交換を行った。
 - ・R8（2026）年度診療報酬改定に向けた要望事項に関する情報収集として、妊婦健康診査初診時の包括的アセスメントに関するデータ収集を実施、次年度も継続予定である。
- 3) 2024 年度事業計画（案）を作成した。

11. 高度実践看護推進委員会

1. 母性看護 CNS の役割認知の拡大
 - 1) 学会 HP における母性看護 CNS ページの更新
 - 2) 母性看護 CNS PR 動画作成
2. 母性看護 CNS の活動推進
 - 1) 第 7 回・第 8 回 TSUMUGU 会の企画・運営（8 月・1 月）
 - 2) 学会活動における CNS の役割推進
学会主催のセミナーや第 7 回 TSUMUGU 会において、母性看護 CNS に講師やファシリテーターとして協力を依頼した。
 - 3) 母性看護 CNS ML の運営
3. 関連団体との協議・情報交換
 - 1) CNS 協議会母性看護分科会担当者との協議（役割調整）
4. 2024 年度事業計画・予算案の作成

報告事項 2 2024 年度事業計画

1. 総務委員会／総務

- 1) 2024 年度一般社団法人日本母性看護学会総会の開催
- 2) 理事会の開催 通常理事会 4 回
書面理事会 適宜開催
- 3) 会員管理・会員サービス・学会案内（外部委託）
- 4) 学会に関連する事務業務
委託業者との調整、学会に関連する書類への対応、他団体への対応
- 5) 定款、規程、細則等の整備
- 6) 2025 年度事業計画（案）作成
- 7) 2025 年度役員選挙に向けた準備
選挙管理委員の選出、改選役員の定数の決定

2. 総務委員会／会計

- 1) 会費管理 入金・支出管理
- 2) 2024 年度決算
- 3) 2025 年度予算案の作成
- 4) 年会費の検討
- 5) 経費運用の検討
- 6) 2025 年度事業計画（案）作成

3. 総務委員会／災害対応部会

- 1) JANA 災害看護学会連携強化をはかる。
- 2) JANA の災害関連情報を会員に提供する
- 3) 一般社団法人日本母性看護学会大規模災害支援者支援事業案内の HP へのバナー作成
大規模災害が発生した場合の支援事業案内の配信
- 4) 2025 年度事業計画（案）作成

4. 総務委員会／将来構想部会

- 1) 地域における高度実践看護プロジェクト活動
「産後のメンタルヘルスケアにおける高度看護実践の探究」の研究成果の公表・活用方法の検討
- 2) 母性看護 APN 将来像検討プロジェクト活動
「母性看護 APN の将来像」に関する意見交換会の開催

- 「母性看護 APN の将来像」(完成版)の公表
3) 2025 年度事業計画(案)作成

5. 編集委員会

- 1) 日本母性看護学会誌の編集・発刊(年2回)
第25巻第1号2号発刊(2024年9月, 2025年3月発刊予定)
- 2) 編集委員会: 月1回オンライン開催
- 3) 査読者登録更新依頼(2025年3月: 2年に1回)
- 4) 2025 年度事業計画(案)作成

6. 広報委員会

会員内外に向けた広報活動

- 1) ホームページの充実、発信する情報の充実
- 2) ニュースレターによる情報の発信
ニュースレター25号の企画・編集・発行
- 3) 会員向け定期メールの配信(2.4.6.8.10.12月)
- 4) 第26回日本母性看護学会学術集会における広報
- 5) 2025 年度事業計画(案)作成

7. 研究促進委員会

- 1) 研究助成に関する情報提供
年2回、学会ホームページを通じて会員が申請できる助成金などの情報の更新
- 2) 日本母性看護学会研究助成
 - (1) 2023 年度研究助成会計監査
 - (2) 2025 年度研究助成の応募要領の作成・公募の実施
 - (3) 研究支援活動(研修会・ワークショップなど)
 - (4) 制度について会員への広報
(応募要領の会員への送付及びホームページへの掲載)
- 3) プロジェクト研究等創設案の検討
- 4) 2025 年度事業計画(案)作成

8. 学術支援委員会

- 1) 学術集会の企画・運営支援
第26回学術集会長: 工藤美子氏(兵庫県立大学看護学部)
第27回学術集会長: 大月恵理子氏(順天堂大学医療看護学部)
- 2) セミナーの企画・運営
第18回セミナーの開催

- 3) 第 18 回学術論文賞の選考
- 4) 2025 年度事業計画（案）作成

9. 生涯学習支援委員会

- 1) CTG セミナーの開催（2024 年 7 月 6 日～7 日、群馬大学）
- 2) 糖代謝異常妊産褥婦を支援する看護セミナーの開催
（オンライン開催、2024 年 12 月～2025 年 3 月）
- 3) WHC セミナーの開催（2025 年 2 月 1 日または 8 日）
- 4) 各セミナー担当者会議 3 回（オンライン）
- 5) 2025 年度事業計画（案）作成

10. 看護政策検討委員会

1. 看護系学会等社会保険連合（看保連）に関わる活動
 - 1) 総会、看護技術検討委員会、あり方検討委員会への看保連委員としての出席
 - 2) 情報交換会への看保連委員としての出席
2. 診療報酬改定要望書の提案に関わる活動
 - 1) R8（2026）年度診療報酬改定に向けた要望事項に関する情報収集（新規提案事項に関する探索）
 - 2) 上記活動に関する委員会の開催（年 4 回、ZOOM）
3. 2025 年度事業計画（案）作成

11. 高度実践看護推進委員会

- 1) TSUMUGU 会の開催（2024 年 9 月、2025 年 1 月頃）
- 2) 学会 HP 母性看護 CNS ページの充実
- 3) 母性看護 CNS の活動推進
学会主催セミナーや TSUMUGU 会への母性看護 CNS の協力依頼
- 4) 2025 年度事業計画案・予算案の作成

12. 利益相反委員会

- 1) 利益相反申告書に疑義が生じた場合の調査および答申を行う。

報告事項3 2024年度予算

単位(円)

科 目	【参考】2023年度予算	【参考】2023年度決算	2024年度予算
収入の部			
会費収入	6,168,000	6,044,000	6,304,000
当年度会費	5,648,000	5,656,000	5,784,000
過年度会費	360,000	248,000	360,000
入会金	160,000	140,000	160,000
事業収入	8,265,000	10,896,004	8,750,000
学術集会収入	7,640,000	10,557,004	7,620,000
CTGセミナー	200,000	0	780,000
GDMセミナー	225,000	210,000	225,000
WHCセミナー	80,000	29,000	35,000
学術支援セミナー	60,000	15,000	30,000
TSUMUGU会	60,000	85,000	60,000
雑収入	4,500	21,501	4,500
受取利息	500	27	500
雑収入	0	5,925	0
抄録利用料	4,000	15,549	4,000
受取寄付金		143,020	0
収入の部 合計(1)	14,437,500	17,104,525	15,058,500
前年度繰越金(2)	39,251,283	39,251,283	42,839,824
合 計(1)+(2)=(3)	53,688,783	56,355,808	57,898,324

科 目	【参考】2023年度予算	【参考】2023年度決算	2024年度予算
支出の部			
事業費支出			
編集委員会	940,000	845,566	1,155,449
広報委員会	160,000	145,640	195,000
研究促進委員会	599,270	520,231	670,300
学術支援委員会	296,000	237,304	290,000
生涯学習支援委員会	558,000	165,134	1,044,500
[CTGセミナー]	240,000	0	780,000
[GDMセミナー]	218,000	127,943	229,500
[WHCセミナー]	100,000	37,191	35,000
看護政策検討委員会	10,400	0	110,400
高度実践看護推進委員会	238,056	113,893	177,400
総務委員会	450,000	118,330	320,000
[災害対応部会]	260,000	0	290,000
[将来構想部会]	190,000	118,330	30,000
利益相反委員会	25,000	24,750	25,000
学術集会	7,596,853	7,669,998	8,582,100
事業費支出 合計	10,873,579	9,840,846	12,570,149
管理費支出			
総務・渉外・会計	4,470,000	3,675,138	4,535,000
管理費支出 合計	4,470,000	3,675,138	4,535,000
周年記念事業積み立て	150,000	(決算科目としては不使用)	150,000
予備費	500,000	(決算科目としては不使用)	500,000
支出の部 合計(4)	15,993,579	13,515,984	17,755,149
当期収支差額(1)-(4)=(5)	-1,556,079	3,588,541	-2,696,649
次期繰越差額(3)-(4)=(6)	37,695,204	42,839,824	40,143,175

報告事項 4 第 28 回学術集会会長について

第 28 回学術集会会長は以下のとおり決定いたしましたのでご報告いたします。

香取洋子氏（北里大学）

第1号議案 2023年度収支決算・監査報告

貸借対照表

2024年3月31日現在

単位(円)

科 目	金 額	備 考
1 資産の部		
流動資産		
(現金・預金)		
当座預金	43,655,943	
郵便振替(法人口座)	43,655,943	
普通預金	469,393	
ゆうちょ銀行(会計)	469,393	
現金・預金 計	44,125,336	
(その他流動資産)		
前払金	1,000,000	学術集会準備金
その他流動資産 計	1,000,000	
流動資産 合計	45,125,336	
固定資産		
(特定資産)		
周年記念事業積立金	750,000	郵便振替口座にて管理
固定資産 合計	750,000	
資産の部 合計	45,875,336	
2 負債の部		
流動負債		
未払金	356,171	委託費期末精算・学会誌24-2制作費
前受金	2,676,500	前受年会費
預り金	2,841	源泉税
流動負債 合計	3,035,512	
負債の部 合計	3,035,512	
3 正味財産の部		
正味財産	42,839,824	
(うち、特定資産への充当額)	(750,000)	
(当期正味財産増減額)	(3,588,541)	
負債及び正味財産の部 合計	45,875,336	

2023年度正味財産増減計算書(予算対比)

2023年4月1日から2024年3月31日まで


単位(円)


科 目	2023年度予算	2023年度決算	差額(予算-決算)	備考
1.経常収益				
会費収入	6,168,000	6,044,000	124,000	
当年度会費	5,648,000	5,656,000	-8,000	納入率89%
過年度会費	360,000	248,000	112,000	前年度以前の会費回収分
入会金	160,000	140,000	20,000	70名分
事業収入	8,265,000	10,896,004	-2,631,004	
学術集会収入	7,640,000	10,557,004	-2,917,004	第25回学術集会
CTGセミナー	200,000	0	200,000	CTGセミナー参加費収入
GDMセミナー	225,000	210,000	15,000	GDMセミナー参加費収入
WHCセミナー	80,000	29,000	51,000	WHCセミナー参加費収入
学術支援セミナー	60,000	15,000	45,000	第17回学術支援セミナー参加費収入
TSUMUGU会	60,000	85,000	-25,000	第7・8回TSUMUGU会参加費収入
雑収入	4,500	21,501	-17,001	
受取利息	500	27	473	
雑収入	0	5,925	-5,925	2021・2022年度研究助成金残金返金(2名)
抄録利用料	4,000	15,549	-11,549	
受取寄付金	0	143,020	-143,020	看護系大学助産師教育研究会(1件)
経常収益計	14,437,500	17,104,525	-2,667,025	
2.経常費用				
事業費支出				
編集委員会	940,000	845,566	94,434	
広報委員会	160,000	145,640	14,360	
研究促進委員会	599,270	520,231	79,039	
学術支援委員会	296,000	237,304	58,696	
生涯学習支援委員会	558,000	165,134	392,866	
[CTGセミナー]	240,000	0	240,000	
[GDMセミナー]	218,000	127,943	90,057	
[WHCセミナー]	100,000	37,191	62,809	
看護政策検討委員会	10,400	0	10,400	
高度実践看護推進委員会	238,056	113,893	124,163	
総務委員会	450,000	118,330	331,670	
[災害対応部会]	260,000	0	260,000	
[将来構想部会]	190,000	118,330	71,670	
利益相反委員会	25,000	24,750	250	
学術集会	7,596,853	7,669,998	-73,145	第25回学術集会
事業費支出 合計	10,873,579	9,840,846	1,032,733	
管理費支出				
総務・渉外・会計	4,470,000	3,675,138	794,862	
管理費支出 合計	4,470,000	3,675,138	794,862	
周年記念事業積み立て	150,000	(決算科目としては不使用)		
予備費	500,000	(決算科目としては不使用)		
経常費用計	15,993,579	13,515,984	2,477,595	
当期経常増減額	-1,556,079	3,588,541	-5,144,620	
当期正味財産増減額	-1,556,079	3,588,541		
正味財産期首残高	39,251,283	39,251,283		
正味財産期末残高	37,695,204	42,839,824		

監査報告書

一般社団法人 日本母性看護学会
理事長 石井 邦子 殿

2024年5月24日
一般社団法人 日本母性看護学会

監事 遠藤 俊子 

監事 島袋 香子 

当学会の2023年4月1日から2024年3月31日までの2023年度決算報告に係る計算書類及びその付属明細書並びに財産目録等について監査を行いましたので、以下の通りご報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

理事及び事務局等と意思疎通を図り、理事会その他の重要な会議に出席し、学会諸事業の情報の収集に努め、2024年5月24日、当学会事務局において会計帳簿及びこれに付随する資料について報告・説明を受けるとともに、内容の確認を行いました。

以上の方法によって、当該年度の決算報告に係る計算書類及びその付属明細書並びに財産目録等について監査いたしました。

2. 監査の結果

2023年度決算報告に係る計算書類及びその付属明細書並びに財産目録等は、当学会の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に表示しているものと認めます。

3. 監査意見

今期も学術集会の収益やオンライン会議等による費用削減で収益が上がっています。期末残高が増加しており、学術団体としての社会貢献も含め、引き続き会員サービスの利便向上、会員向け事業の拡充等により学術的な発信を期待いたします。

以上